

# KÄRCHER

ケルヒャー業務用 シティークリーナー

## IC 15/240 W



この度は、ケルヒャー商品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。  
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。  
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

IC 15/240 W  
201707

## ●もくじ

---

安全上の注意	3～6
仕様	7
各部名称	8
パレットから移動	9
走行モードの設定	10～11
準備	12
エンジン始動	13～16
操作	17～21
積載移動	22
長期間の保管	23
メンテナンス	24～29
充電	30
トラブル対応	31
お問合せ先	32
ユーザー登録・保証	33
修理	34～35
補修部品	36

## 使用上のご注意

---

◎ご使用の前に必ずお読みください。

### 絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



**注意**

### 清掃は自己責任において行なうこと

万一洗浄対象物に変色、変形、破損などが生じた場合もしくは正しく操作をせずにケガ等を負った場合、当社では一切の責任を負いません。

## ご使用時の警告



子供には触らせないこと  
重大事故が生じる場合があります非常に危険です。

### 改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。  
ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。  
機能を十分に発揮しない場合が生じ、思わぬ事故のもとになることがあります。

### コンテナ上昇時は下に入らないこと

油圧回路が損傷した場合、重大事故が生じる場合があります危険です。

修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと  
個人の修理は事故のもとになるおそれがあります。

### 飲酒時には絶対に運転しないこと

#### 屋内で使用しないこと

一酸化炭素中毒を生じる場合があります非常に危険です。

### 危険物や火気のある場所で使用しないこと

火災の原因となります。

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること

汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

### 燃料の補給に注意すること

燃料がこぼれ、引火する恐れがあります。  
周囲に燃料がこぼれている場合は、場所を移動し安全な場所で作業を行ってください。

### 燃料を切らさないこと

エンジン燃料ポンプが空気を吸い込み起動できなくなります。

### エンジンには無鉛ガソリンを使用すること

異種燃料を使用した場合、エンジンが壊れます。

### 本体、電源プラグに水をかけないこと

感電する場合があります。

### ぬれた手で電源プラグを触らないこと

感電する場合があります。



## ご使用時の警告



燃料補給時はエンジン停止すること  
引火爆発の原因となります。

エンジン運転中は絶対に本体を水洗いしないこと  
エンジン故障の恐れがあります。

バッテリーを短絡させないこと  
短絡させた場合、爆発する危険性があります。

バッテリーに水をかけないこと  
引火爆発の原因となります。

接続ケーブルは確実に取り付けること  
ゆるい場合短絡し、引火爆発の原因となります。

操作パネルに水をかけないこと  
スイッチが損傷する原因となります。



## バッテリーに関する注意



充電は換気の良い場所でおこなうこと  
屋内で充電する場合は換気設備の整った場所でおこなってください。  
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

**充電中は火気厳禁！**

充電中はバッテリーからガスが発生し、引火爆発を生じる恐れがあります。

バッテリー液の補充を行うこと

バッテリー液が少ない状態で使用した場合バッテリーが爆発する場合があります。

作業前に必ずバッテリー液の確認を行ってください。

バッテリーの形状に注意すること

バッテリーの寿命が近づいてくるとバッテリーの側面が膨らみます。  
バッテリーが丸く膨らんだ場合交換してください。

長期保管時は充電すること

1ヶ月以上使用しない場合は毎月1度必ず充電してください。  
バッテリーは使用しない状態で保管した場合、約3ヶ月で完全放電してまいります。

完全放電した場合バッテリーの寿命が低下します。



## 作業に関する注意



車両の周りの安全確認を行うこと  
車両付近に他の人や、動物、障害物がないかを確認してください。

作業時はアクセルを高速いすること  
低速では作業性が低下します。

急激なハンドル操作を行わないこと  
転落の危険があります。

傾斜地は低速で移動すること  
ブレーキの利きが低下する場合があります。

50 mm以上の段差を超えないこと  
走行系統を損傷する場合があります。

ひも状のゴミは事前に取り除くこと  
ブラシを損傷する場合があります。

メンテナンスの際は防塵マスクを装着すること  
ダストフィルターの交換の際は粉塵対策を行ってください。

1 か月以上使用しない場合は燃料を抜くこと  
約1 か月でガソリンは変質します。

エンジンオイルは定期交換すること

初回 20 時間後、」以後 100 時間毎に交換してください。

エンジン点火プラグ・エアフィルターは定期交換すること  
100 時間毎に交換してください。



ダストフィルターは水洗い禁止  
フィルターが壊れます。

高圧洗浄は行わないこと  
稼動部が損傷する場合があります。

エンジン運転中は絶対に本体を水洗いしないこと  
エンジンが損傷する恐れがあります。

雨天時は使用しないこと  
電装系統に悪影響が生じます。

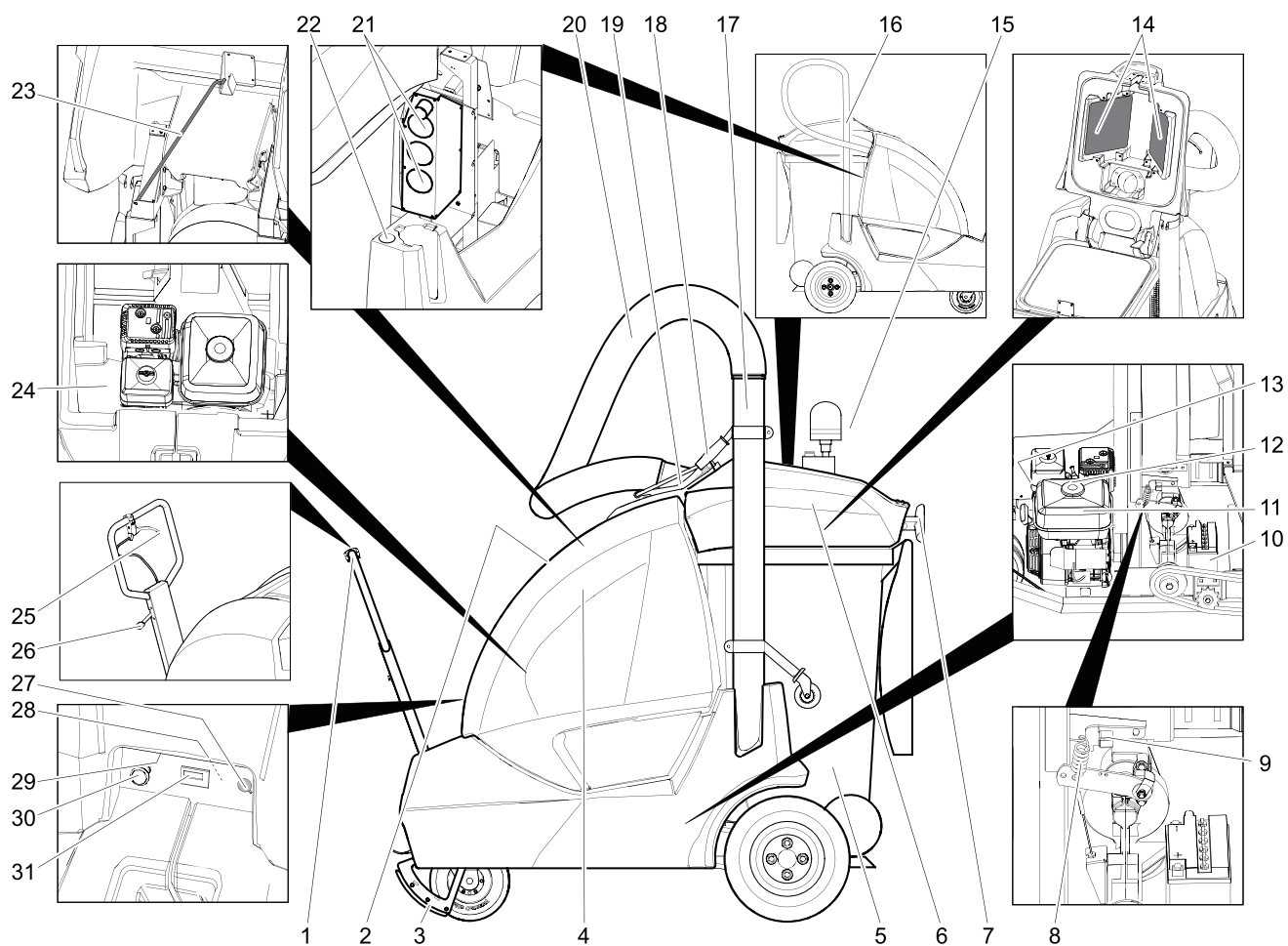
使用しない場合はシートで覆うこと  
電装・エンジン・油圧系統に悪影響が生じます。

劣化ガソリンは使用しないこと  
エンジンを損傷します。

# 仕様

IC 15 / 240 W	
動力	ガソリンエンジン
タイプ	ホンダ GX160 QXW * GCACK-XXXXXXXX
起動方式	セルモーター + リコイルスターター
潤滑油容量	0.56 L
燃料タンク容量	3.6 L
搭載バッテリー	12 V - 14 Ah
作業時間	2.5 時間 (満タン時)
トランスミッション	油圧
油圧作動油	1.5 L (VG68)
走行スピード	
前進/後進	0~6 / 0~3Km/h
登坂能力	15%
回転半径	2m
吸引風量	208 L/ 秒
真空度	33 hP
搭載コンテナ	240 L
操舵輪	ラバータイヤ (260 Φ)
駆動輪	4.00-8 (0.15MPa)
作業環境	
環境	0 ~ 40°C
湿度	0 ~ 90%
質量	253 k g
寸法	L × W × H 1840 × 980 × 1600 mm
騒音値	96 dB(A)

# 各部名称



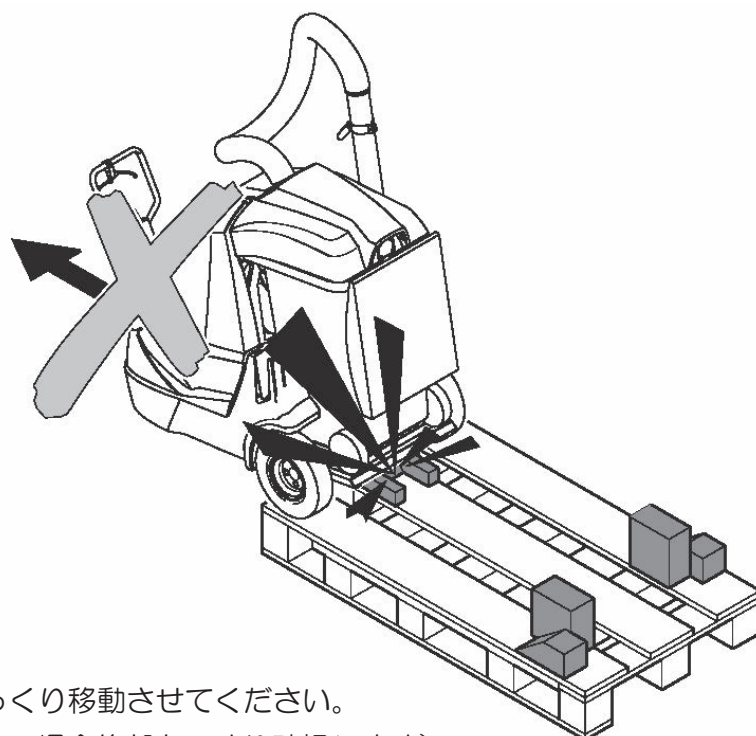
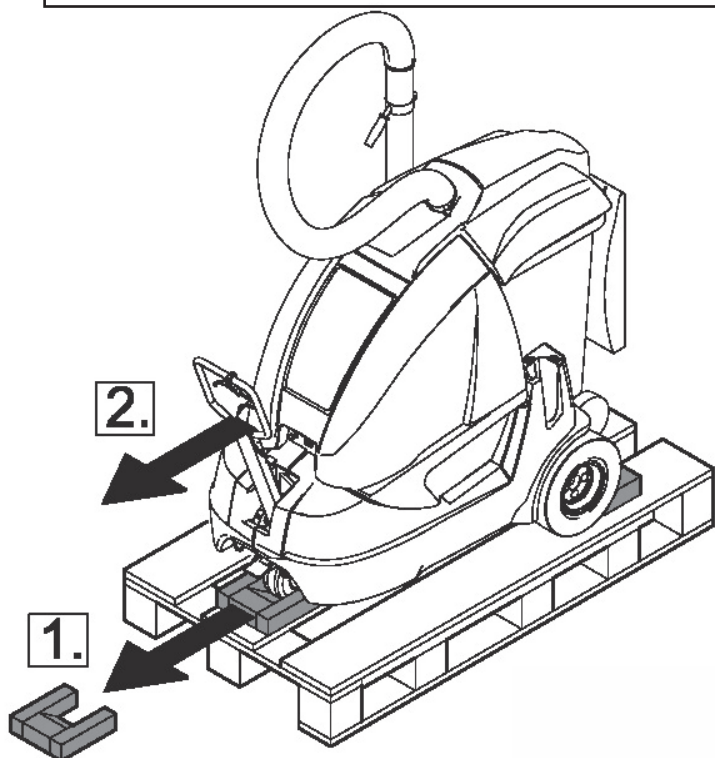
- |                   |                                       |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1 操舵ハンドル          | 17 吸引パイプ                              |
| 2 収納ボックス          | 18 ハンドル                               |
| 3 バンパー            | 19 クイックカバー                            |
| 4 サイドカバー          | 20 吸引ホース                              |
| 5 ゴミコンテナ          | 21 排気口                                |
| 6 ヘッドカバー          | 22 アクセサリホルダー                          |
| 7 フィルタークリーニングハンドル | 23 固定バー                               |
| 8 ブレーキバネ          | 24 予備タンク収納場所<br>(サイズ 165 x 147 x 247) |
| 9 フリーホイールレバー      | 25 ブレーキロックレバー                         |
| 10 バッテリー          | 26 アクセルコントロール                         |
| 11 燃料タンク          | 27 キースイッチ                             |
| 12 燃料キャップ         | 28 スターター用ヒューズ (15 A)                  |
| 13 燃料コック          | 29 カバーハンドル                            |
| 14 ダストフィルター       | 30 チョーク                               |
| 15 警告灯            | 31 作業時間カウンター                          |
| 16 ブローパイプ (オプション) |                                       |



## パレットから移動



作業の際にケガをしないように作業用手袋を着用しましょう！



パレットから本体を移動させる。

前輪の輪留めを取外します。

手押しモード (P11 参照) にます。

操舵ハンドルを下に下げ、機械をゆっくり移動させてください。

(前輪止めを必ず取り外すこと 外さない場合後部をこすり破損します)



注意

- 必ず前輪の輪留めを取り外してから動かすこと
- フォークリフトなどを使わないこと

## 走行モードの設定

---



警告

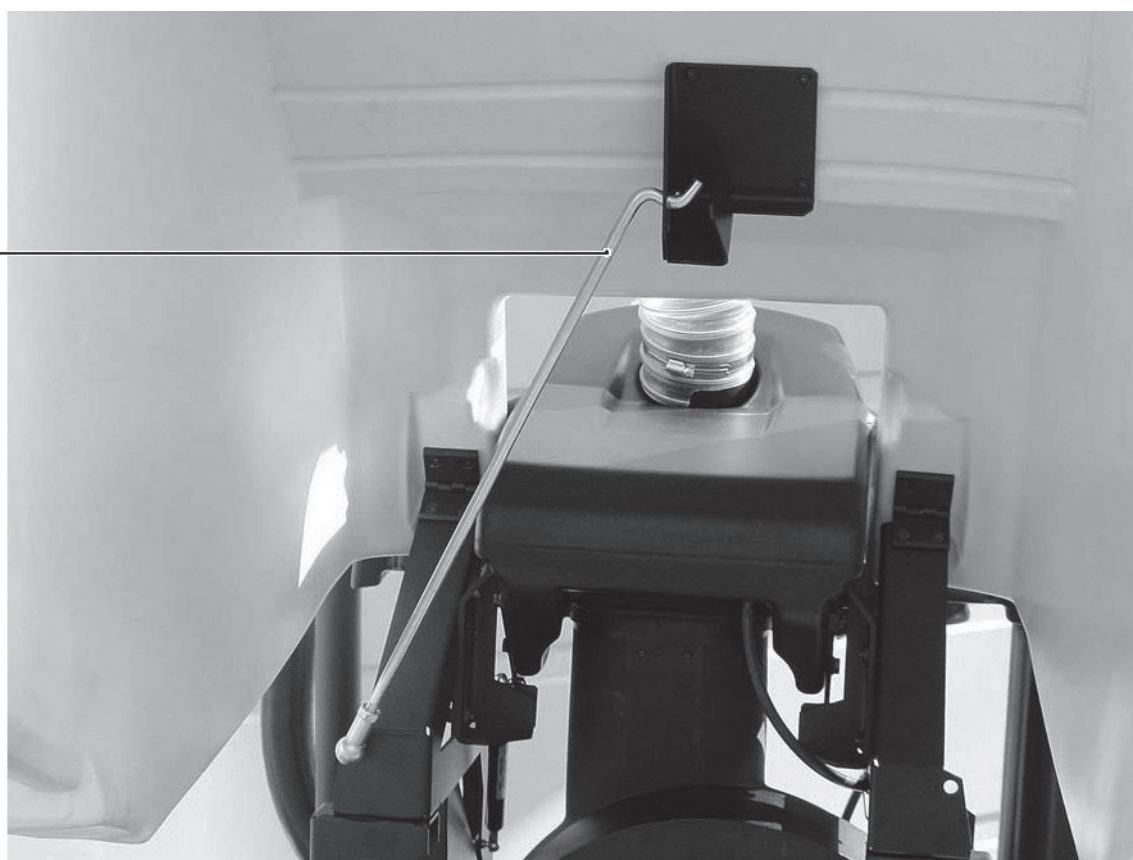
作業を始める前に、機械が動かないようにすること  
輪留めをするなどしてタイヤを固定し、機械が動かないようにして  
ください。



注意

- エンジンは起動させないこと
- 長距離の移動は行わないこと
- 時速6km以上で移動しないこと
- 勾配のきつい場所を移動しないこと

1

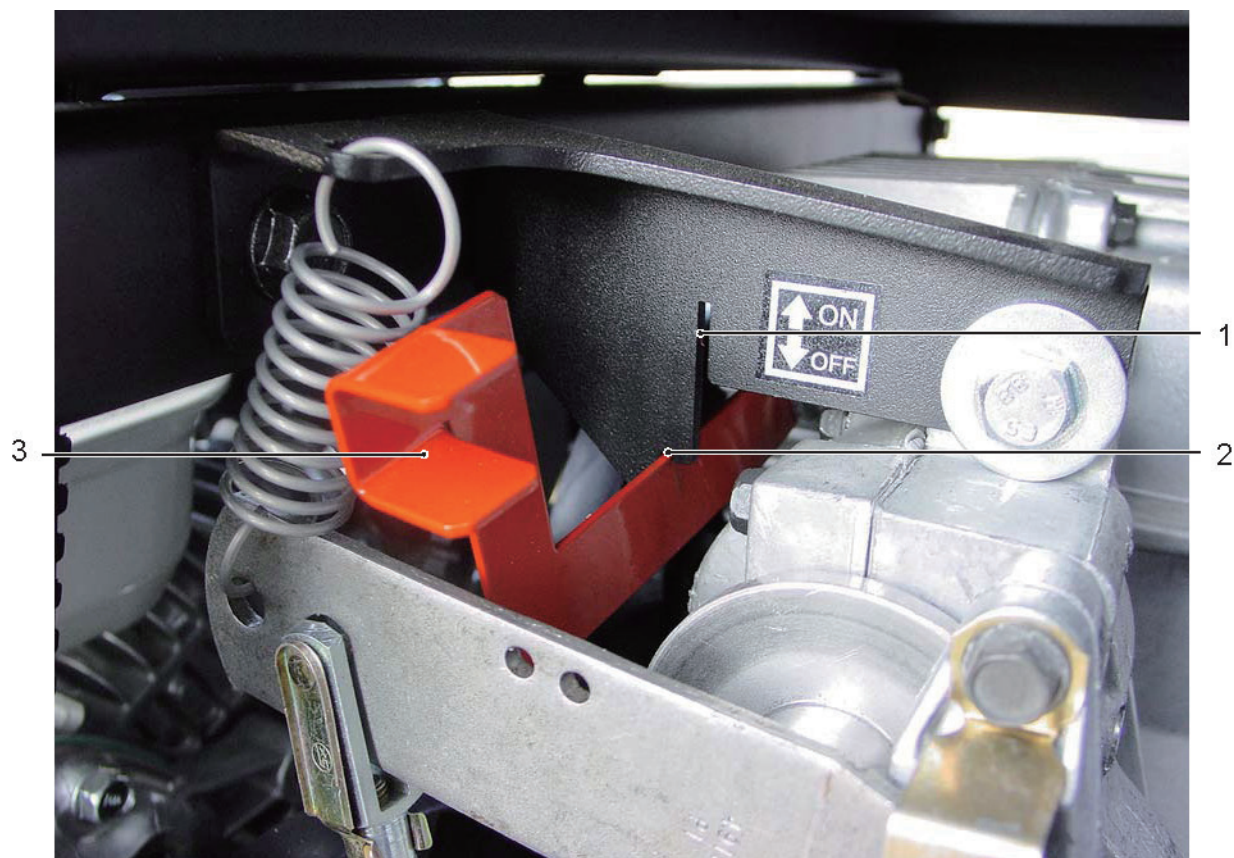


1 固定バー

エンジンを停止させます。  
機械のカバーを開け、固定バーで固定します。

---

## <手押しで移動する場合>



1. 作業ポジション
2. 手動移動ポジション
3. 切り替えレバー

手動で機械を移動する場合

エンジンを停止させてください。

切り替えレバー（3）を手動移動ポジション（2）に移動してください。

操舵ハンドルのブレーキレバーを解除してください。

機械を引いて移動してください。

油圧移動ポジション（作業ポジション）

切り替えレバーを作業ポジションに移動してください。

---

## <作業を行う場合>

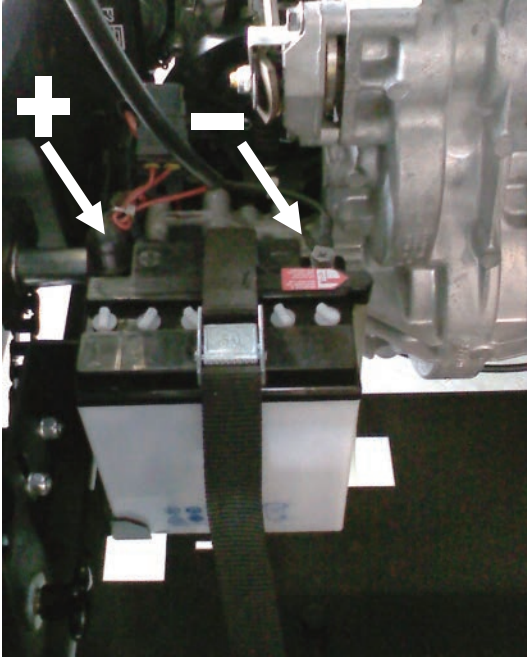
切り替えレバーを作業ポジション（1）に移動させてください。

# 準備



- 作業を始める前に、機械を平らな場所に設置してください。
- イグニッションキーを抜いた状態で作業を始めてください。

## バッテリーの接続



バッテリー接続線をバッテリーターミナルにしっかり接続してください。

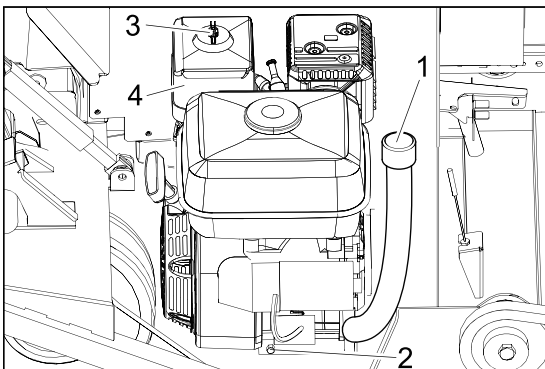
## エンジンオイルの確認

エンジンにはオイルレベルスイッチが内蔵されています。エンジンオイルが不足している場合エンジンが止まります。

再度起動させる場合は、エンジンオイルを交換した後行ってください。



**注意** エンジンが冷めてから作業すること  
エンジンを停止してから、5分以上待った後作業を開始してください。



オイルレベルゲージを取り外し、エンジンオイル量を確認してください。

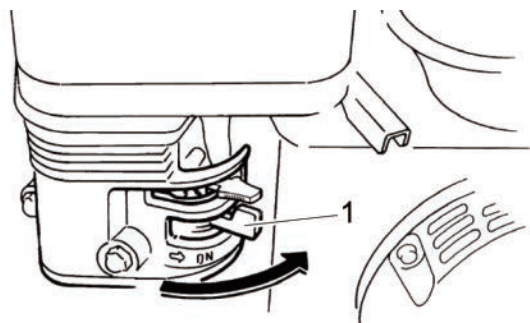
レベルゲージの上限までない場合  
補給もしくは交換を行ってください。

オイルタイプ  
SAE 15W40 (注文番号：6.288-050)

- |   |           |   |         |
|---|-----------|---|---------|
| 1 | オイルレベルゲージ | 3 | 蝶ナット    |
| 2 | ドレインスクリュー | 4 | エアフィルター |

# エンジン始動

## 燃料コックを開ける



カバーを開け、固定バーで固定してください。  
レバーをONの方向に押してください。  
カバーを閉じてください。

1 燃料コック

## 燃料の補給

エンジンを停止してください。

カバーを開け、固定バーで固定してください。

燃料キャップを開けてください。

自動車用無鉛ガソリンを、こぼさないように補給してください。

燃料はタンク注ぎ口から 2 センチ下までにしてください。

こぼした場合はウェスなどで拭き取ってください。

燃料キャップを閉め、本体カバーを閉めてください。



注意

- 燃料は規定の燃料を使用すること
- 密閉されたスペースで燃料の補給をしないこと
- 火気のある場所で燃料の補給をしないこと
- 変質したガソリンを使用した場合エンジンが壊れる場合があります。

---

## エンジン始動（スターター始動）



アクセルコントロールを低速に合わせます。  
<上げます>



チョークを引いてください。  
キースイッチをスターター起動位置まで回します。  
エンジンが起動したら速やかにキーから手を放してください。



エンジン回転が落ち着いたらチョークを戻してください。



アクセルコントロールを高速に合わせます。  
<下げます>

---

---

## エンジンの始動方法（バッテリーが上がった場合）



カバーを開け固定バーで固定してください。



アクセルコントロールを低速に合わせます。  
<上げます>



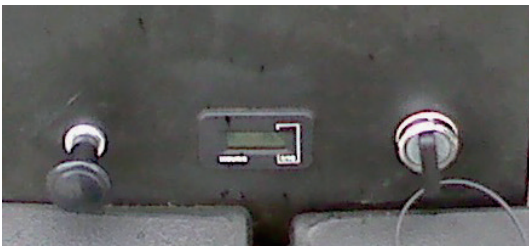
チョークを引いてください。  
キースイッチを起動位置に合わせます。



エンジンのリコイルスターターを一気に引いてください。

リコイルスターターをゆっくり戻してください。

エンジンが掛からない場合は数回行ってください。



エンジン回転が落ち着いたらチョークを戻してください。



アクセルコントロールを高速に合わせます。  
<下げます>



カバーを閉じてください。



# 操作

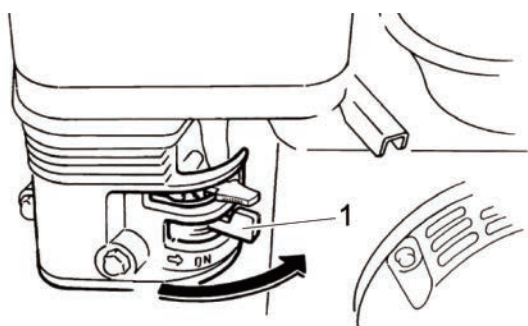


警告

長時間本機を使用した場合  
機械の振動により腕などの血液循環が低下する恐れがあります。  
手にしびれや、疲労感を感じたら速やかに作業を中止すること

## 1 燃料コックを開ける

納品時は燃料コックは閉じた状態になっています。



カバーを開け、固定バーで固定してください。  
レバーをONの方向に押してください。  
カバーを閉じてください。

1 燃料コック

## 2 機械を始動する



走行バーを放してください。  
チョークレバーを引いてください。  
イグニッションキーを | の方向に回してください。  
エンジン起動後キーを放し、暖機運転後チョークを戻してください。

1 キースイッチ

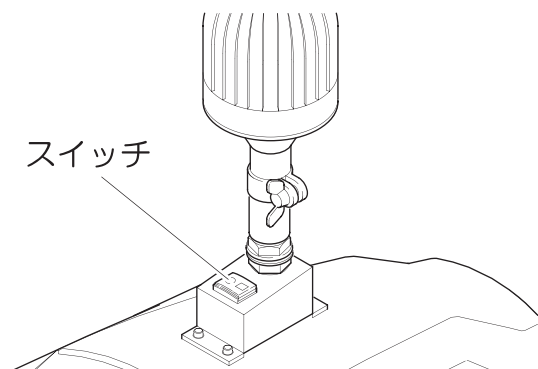
2 チョーク



注意

スターターモーターを連続で5秒以上作動させないこと  
バッテリー上がりが生じます。

## 3 回転灯を点ける



回転灯のスイッチを入れます。  
作業終了後スイッチを必ず切ること



注意

エンジン停止時はスイッチ  
をきること  
バッテリーが上がります。

## 4 機械を運転する



- 1 操舵ハンドル指示シール
- 2 操舵ハンドルカバー
- 3 エンジン操作指示シール
- 4 エンジンコントロールレバー
- 5 操作パネル
- 6 ブレーキワイヤー
- 7 ブレーキ解除レバー



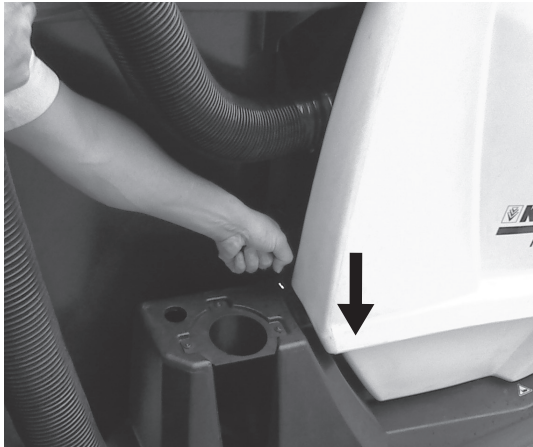
操舵ハンドル  
中立位置 停止（ブレーキ作動）  
前方に倒す 前進  
後方に戻す 後進

操作方法  
ブレーキ解除レバーを握りながら操舵ハンドルを前後に倒します。

スピードの調整  
操舵ハンドルの倒し方で調整されます。

段差を降りる・越える場合（14 cm以内）

段差と前輪が直角になるように進み、前輪をゆっくり降ろして（上げて）ください。  
ハンドルを切り、後輪を片方ずつゆっくり降ろして（上げて）ください。



## 5 吸引作業

ブロー搭載車（オプション）は切り替えレバーを下げてください。



### 注意

切り替えレバーの位置を確認すること  
上げた状態で使用した場合  
吸引が低下する場合があります。



吸引ホースでゴミを吸引してください。

標準ホース径：100mm

商品番号： 6.391-669.0

### 大きなゴミ用キット

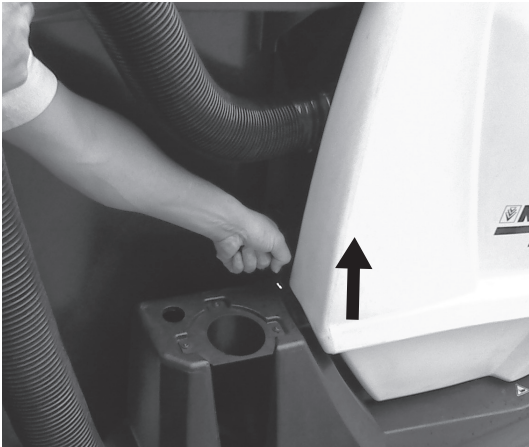
ホース径： 125 mm

商品番号： 2.850-839.0

取り付けには加工が必要です。



大きいゴミはクイックカバーを開けゴミを手で直接放り込んでください。



## 6 ブロー作業（オプション）

ブロー切り替えレバーを上を持ち上げてください。

商品番号： 2.850-831.0

取り付けには加工が必要です。



ブローホースでゴミを吹き飛ばしてください。

作業終了後ブロー切り替えレバーを下げてください。

上げた状態で吸引作業を行うと吸い込みが悪い場合があります。



#### 7 フィルター

吸引力が低下した場合、またはゴミコンテナを取り外す場合

エンジンを停止してください。

フィルタークリーニングハンドルを前後に数回動かしてフィルターのチリを落としてください。



#### 8 コンテナの取り外し

エンジンを停止してください。

ヘッドカバーを上げてください。

#### フィルター

商品番号： 2.50-832.0

必要個数： 2個



コンテナを取り外してください。

新しいコンテナを取り付けてください。

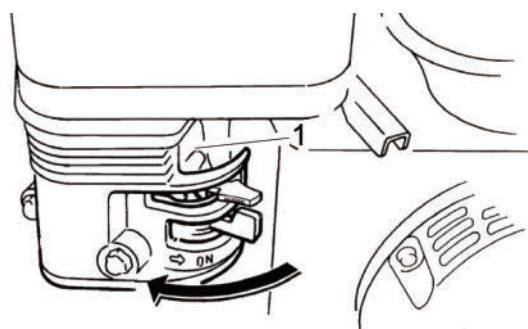
ヘッドカバーを下げてください。

#### コンテナ

商品番号： 6.491-878.0

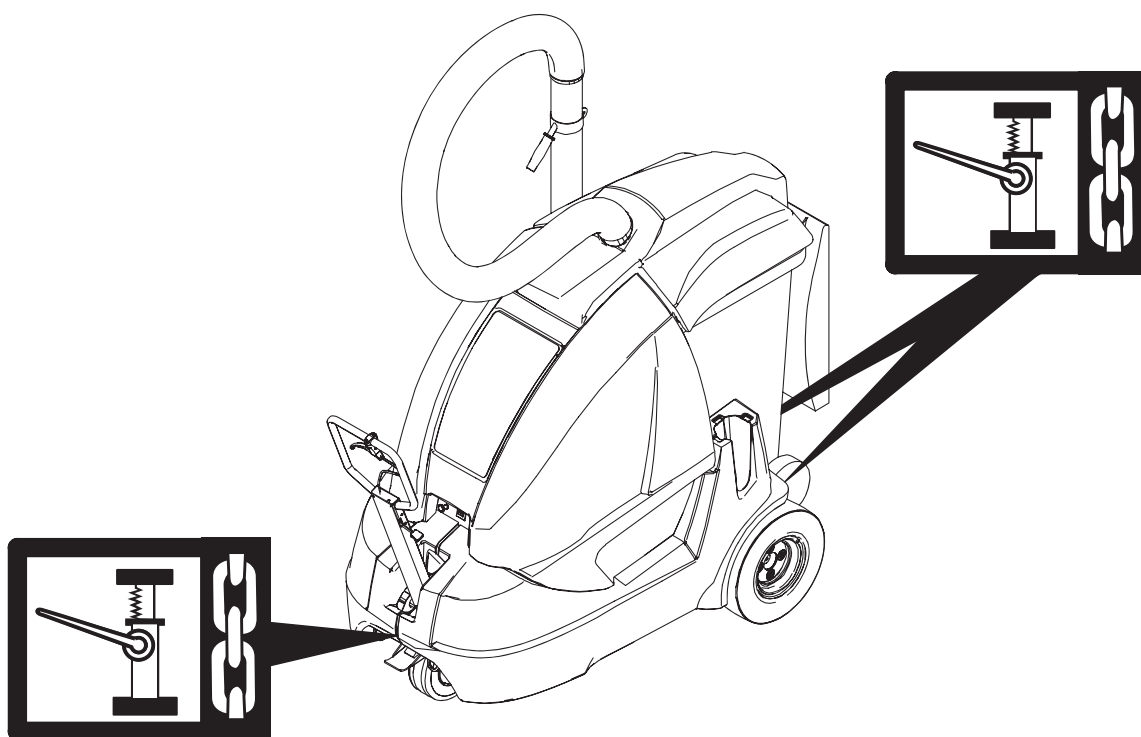
## 積載移動

---



1 燃料コック

燃料コックを閉める  
燃料コックを OFF の方向に回してください。



走行バーを中立位置に戻します。  
キースイッチを抜いてください。  
輪留めをしてください。  
ベルトでしっかり固定してください。

## 長期間の保管

---

長期間機械を使用しない場合は、以下の手順を実施してください。

機械を平らな場所に置いてください。

キースイッチを抜いてください。

燃料タンクの燃料を抜いてください。

エンジンオイルを交換してください。

スパークプラグを取り替えてください。

機械の外側、内側を清掃してください。

機械を安全で乾燥した場所に保管してください。

バッテリーの接続を抜いてください。

バッテリーを約2ヶ月に1度充電してください。

# メンテナンス

---



注意

- 日常点検や、メンテナンスを行う場合は、スイッチを切り、イグニッションキーを抜くこと
- 修理やメンテナンスは熟練した技術者が行うこと
- 機械に直接水をかけて洗浄しないこと  
電装部品が壊れる可能性があります。

## <日常点検>

### エンジンオイル

エンジンオイルの量を確認してください。

### ドライブオイル

トランスミッションオイルの量を確認してください。

### タイヤ圧

タイヤ圧を確認してください。

## <週ごとの点検>

### 燃料パイプ

燃料パイプにもれがないか確認してください。

### エアフィルター

エアフィルターを確認してください。

### 可動部分

可動部分が正確に機能しているか確認してください。

## <50作業時間ごとの点検>

### 燃料パイプ

燃料パイプにもれがないか確認してください。

### エンジンオイル交換

初回は20作業時間 以後50作業時間ごとにエンジンオイルの交換をしてください。

### スパークプラグ

スパークプラグの確認をしてください。

### バッテリー

バッテリーの液の量を確認してください。

### ブレーキ

ブレーキスプリングが正確に機能しているか確認してください。

### ドライブベルト

V-ベルト、サーキュラーベルトの張り、磨耗を確認してください。

### ドライブチェーン

ドライブチェーンの張りを確認してください。



## ■ エンジンオイル

### <オイル量確認>

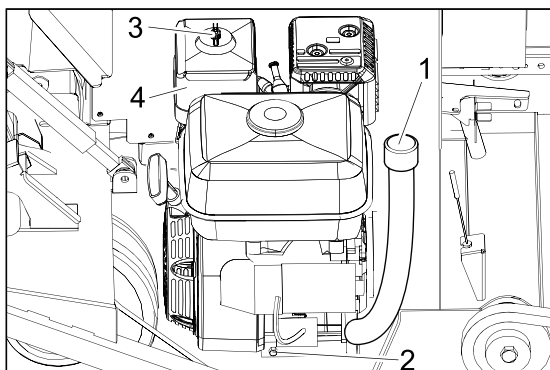
エンジンオイルの量を確認し、足りなければ継ぎ足してください。



注意

エンジンが冷めてから作業すること

エンジンを停止してから、5分以上待った後作業を開始してください。

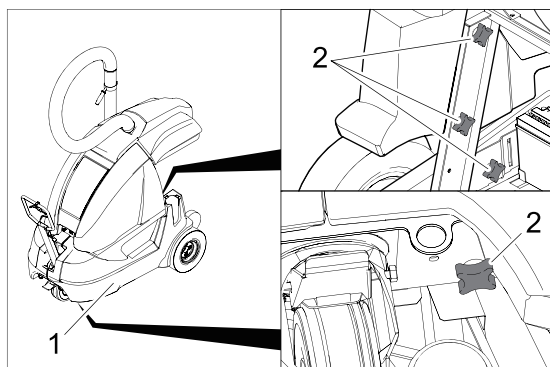


オイルレベルゲージを取り外し、エンジンオイル量を確認してください。  
レベルゲージの上限までない場合は補給してください。

オイル SAE 15W40

商品番号 6.288-050.0

- 1 オイルレベルゲージ
- 2 ドレンスクリュー
- 3 蝶ナット
- 4 エアフィルター



- 1 サイドパネル
- 2 スクリュー

### オイル交換

エンジンオイルの交換目安は

初回 ⇒ 20 作業時間後

事後 ⇒ 100 作業時間ごと

### 交換手順

カバーを開け、固定バーで固定してください。  
右サイドパネルのスクリュー4本を外してください。

サイドパネルを外してください。

オイルレベルゲージを取り外してください。

オイル回収トレイを用意し、ドレンスクリューを外してください。

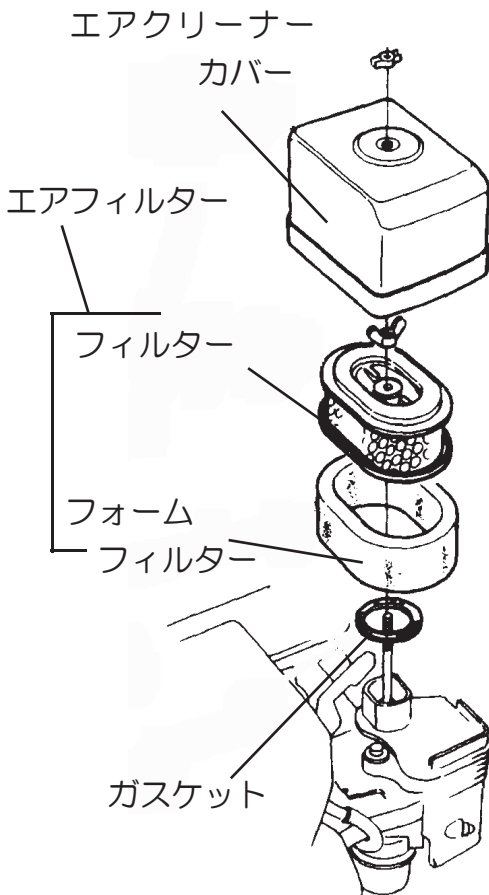
オイルを完全に抜いた後ドレインスクリューを取り付け、新しいオイルを注入してください。

オイルレベルを確認しサイドパネルを取り付けてください。

## ■ エアクリーナー

※粉塵の多い場所で使用する場合は毎日点検してください。

※通常的环境下で使用する場合は25作業時間ごとに点検してください。



エアクリーナーカバーの蝶ナットを外して、エアクリーナーカバーを取り外してください。

エアフィルターの蝶ナットを外して、エアフィルターを取り外してください。

フィルターから、フォームフィルターを取り外してください。

フィルターとフォームフィルターが損傷していないかどうかを確認してください。汚れが著しい場合や、損傷している場合は交換してください。

フィルターとフォームフィルターが汚れている場合は、圧搾空気を内側から噴きつけてホコリを取り除いてください。

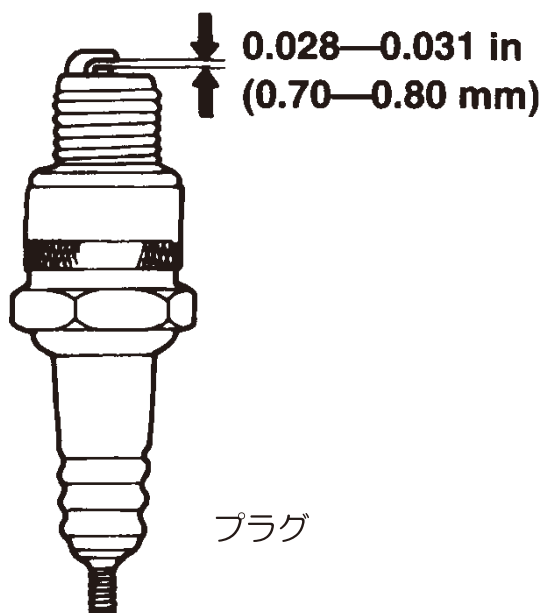
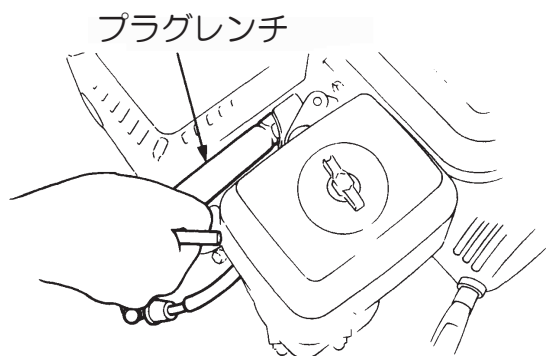
フィルター  
商品番号 6.491-540.0

**注意** エアフィルターを取り付けない、損傷したエアフィルターを使用した場合、エンジンが損傷します。

## ■ プラグ

※プラグレンチを用意してください。

※ 100 作業時間ごとに、プラグを取り外してください。



注意 ヤケドに注意

プラグレンチでプラグを取り外してください。プラグが磨耗していたり、焼けすぎている場合は交換してください。

指定プラグ：

NGK：BP6ES/BPR6ES、

ND：W20EP-U/W20EPR-U

プラグ

商品番号 6.491-550.0

プラグの金属部分をエンジンに接触させてリコイルスターターを引っ張り、プラグ先端でスパークが発生させているか確認してください。

スパークが発生しない場合は、新しいプラグに交換し、再度確認してください。

新しいプラグを装着してもスパークが発生しない場合は、最寄のホンダ汎用にお問い合わせください。

プラグが汚れている場合は、ワイヤーブラシで汚れを取り除いてください。

プラグのコイルの間隔を測り、0.7 - 0.8 mm になるように矯正してください。

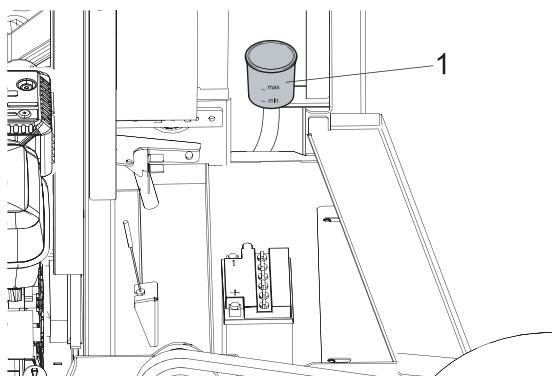
プラグに取り付けられているワッシャーを確認し、亀裂などがある場合はプラグを交換してください。

プラグを手で止まるまでねじ込んでください。プラグレンチを用い、

■新しいプラグの場合は 1/2 回転締め込んでください。

■古いプラグの場合は 1/8 ~ 1/4 回転締め込んでください。

## ■ 油圧油の確認（アクセルドライブ基盤）



1 油圧ミッションオイルタンク

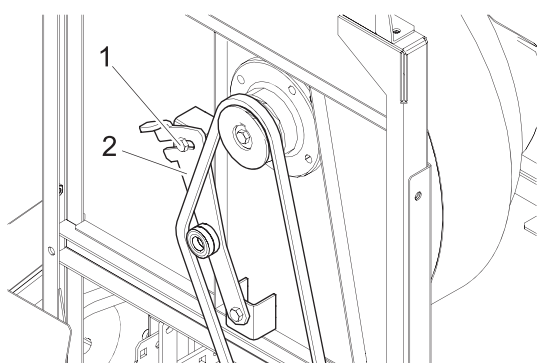
5分間作動後に作業を行ってください。  
カバーを開け、固定バーで固定してください。  
油圧オイルタンクの量を確認してください。  
オイル量がMAXのラインから、2cmの間にあることを確認してください。

オイル量が足りない場合  
規定ラインまでゆっくり補給してください。

**オイル**

商品番号 4.070-489.0

## ■ ドライブベルトの確認



1 スクリュー

2 テンションロッド

イグニッションキーを“0”にし、キーを抜いてください。

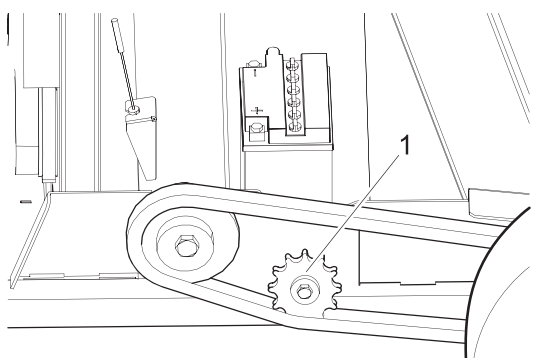
カバーを開け、固定バーで固定してください。

安全カバーを取り外してください。

ドライブベルト、V-ベルトのテンション、  
磨耗などがなく確認してください。

スクリューをゆるめ、テンションロッドを固定してください。

## ■ チェーンテンションの確認



1 ギア

カバーを開け、固定バーで固定してください。

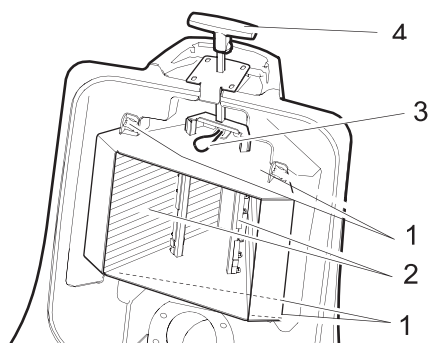
チェーンテンションを確認してください。

<テンション：3～5mm以内>

後方のギアをゆるめてください。

ギアを押し、テンションを調整後固定してください。

## ■ ダストフィルターの交換



- 1 スクリュー
- 2 フィルター
- 3 スプリングピン
- 4 フィルタークリーニングハンドル

ヘッドカバーを開けてください。  
スプリングピンを外してください。  
フィルターを取り外してください。  
スクリューを全て外してください。  
ホルダーを取り外してください。  
フィルターを取り外してください。  
新しいフィルターを取り付けてください。  
ホルダーをスクリューで留めてください。  
フィルタークリーニングハンドルを取り付けてください。  
スプリングピンを差し込んでください。

# 充電

---

## 充電方法

バッテリーの接続を外してください。  
充電器のプラスターミナルと、バッテリーのプラス側に接続してください。  
充電器のマイナスターミナルと、バッテリーのマイナス側に接続してください。  
充電器の電源プラグを差し込み、スイッチを入れてください。  
最低電流値でバッテリーを充電してください。

## バッテリー液補充方法

セルキャップを外してください。  
バッテリー液が少ない場合は、指定された高さまで蒸留水を満たしてください。  
セルキャップを取り付けてください。

## 注意事項

充電作業前後にバッテリー液の量を確認し少ない場合は補充を行ってください。  
充電作業は火気のない換気の良い場所で行ってください。  
充電器の冷却ファンを塞がないでください。  
充電作業中は充電器、本体をカバーで覆わないでください。

# トラブル対応

動かない	燃料を補給してください。
	燃料コックを開けてください。
	燃料システムの接続部を確認してください。
	スターターのヒューズを確認してください。
	バッテリーを充電してください。
	スパークプラグの清掃、交換をしてください。
	ケルヒャーサービスエンジニアにご相談ください。
エンジンが不規則に動く	エアフィルターの清掃、交換をしてください。
	燃料システムの接続部を確認してください。
	ケルヒャーサービスエンジニアにご相談ください。
エンジンは動くが、機械が動かない	フリーホイールレバーを確認してください。
	ケルヒャーサービスエンジニアにご相談ください。
エンジンは動くが、機械がゆっくりしか動かない	氷点下での使用の場合は、温まるまで3分程待ってください。
	ケルヒャーサービスエンジニアにご相談ください。
吸引力が弱い	サクシオンヘッドのワッシャーを確認してください。
	サクシオンヘッドのフィルターの清掃をしてください。

## お問い合わせ先

---

### <サービスフロント>

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00  
(祝祭日、当社休日を除く)

TEL：0570-78-3140

FAX：045-438-1320

製品に関するお問い合わせはお近くの営業拠点までご連絡ください。

営業拠点：弊社ウェブサイトでご確認をお願いします。

ホームページ：<https://www.kaercher.com/jp/>

⇒会社情報


⇒企業情報

⇒営業拠点 でご確認いただけます。



## ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。ケルヒャー ジャパン株式会社では、十分なアフターサービスを提供するために、当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。

	<p>＜ユーザー登録をいただいたお客さま限定＞ ご購入日から 1 年間の保証期間を ご購入から 2 年間に延長いたします。</p> <p>そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。ぜひご登録ください。</p>
---	---

### ＜ユーザー登録方法＞

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。  
サービス - 業務用製品ユーザー登録

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。  
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
- S/N：x x x x x x の数字がシリアル番号です。

### ＜保証＞

保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。

### ＜お問い合わせ先＞

ケルヒャー ジャパン株式会社 サービスフロント  
TEL：0570-78-3140  
メール：service@karcher.co.jp

#### 登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。  
尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。  
当社の個人情報保護の取り組みについては、ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトでご覧いただけます。

## 修理

---

修理はサービスフロントへお問い合わせください。

### ●修理機をご送付頂く場合

最寄りの弊社拠点へご送付ください。

修理を依頼する場合は、FAX もしくはメールフォームで申込みを受け付けております。「修理申込書」に故障状況などをご記入いただき、サービスフロントへ FAX 頂き・修理機に同梱してください。

※申込書は弊社ホームページからダウンロードを行なってください。

もしくはメールフォームから修理の申し込みを受け付けております。

必要事項をご入力いただき、申込書を修理機に同梱してください。

お見積り提示まで入庫後5稼働日ほどかかります。

お見積り提出後2週間以内にご連絡が頂けない場合は着払いでご返送させていただきます。

### ■修理機を送付される場合はお近くの営業拠点へご送付ください。

弊社ホームページからお近くの拠点をご確認頂けます。

ホームページから拠点を確認する場合は

<https://www.kaercher.com/jp/>

⇒会社情報

⇒営業拠点

### ●出張修理もしくは出張見積もりの場合

※不具合状況をサービスフロントへ詳しくご説明ください。

出張修理の場合

作業工賃 4,000 円 /30 分 (※)

出張基本料金 3,500 円 (※)

拠点からの移動費 170 円 /Km (※) (最大 50Km : 最大 8,500 円 (※))

部品代が別途発生いたします。

出張見積もりの場合

見積もり作業費用が別途発生いたします。(※ お問合せください)

出張基本料金 3,500 円 (※)

拠点からの移動費 170 円 /Km (※) (最大 50Km : 最大 8,500 円 (※))

機械を分解し不良特定を行うためもとの状態には戻せません。

引き揚げの場合は実費をご請求いたします。

夜間・深夜作業は追加料金が生じます。

(※) : 2017 年時点の料金です。

修理工賃・出張基本料金・移動料金・見積もり料金等は変更される場合がございます。サービスフロントへ事前にお問い合わせください。

ケルヒャーサービスフロント宛て **FAX番号:045-438-1320**

ご記入の上へサービスフロントまでFAXでお知らせください。

## 修理 申込書 (定額修理該当機種は除く)

下記の通りケルヒャーの修理を申込みます。

お客様	会社名※			
	お名前※		部署名	
	住所※	〒		
	電話番号※		FAX番号※	
	メールアドレス			
	連絡方法※	<input type="checkbox"/> メール ・ <input type="checkbox"/> 電話 ・ <input type="checkbox"/> FAX		
修理機の情報	機種名※		購入時期	
	故障状況※	記入例:ポンプから水漏れ・水圧が低い。モーターがうる。時々動かない・・・		

※は必ずご記入ください

● **お支払について** ご希望の事項にご記入または☐を入れてください。

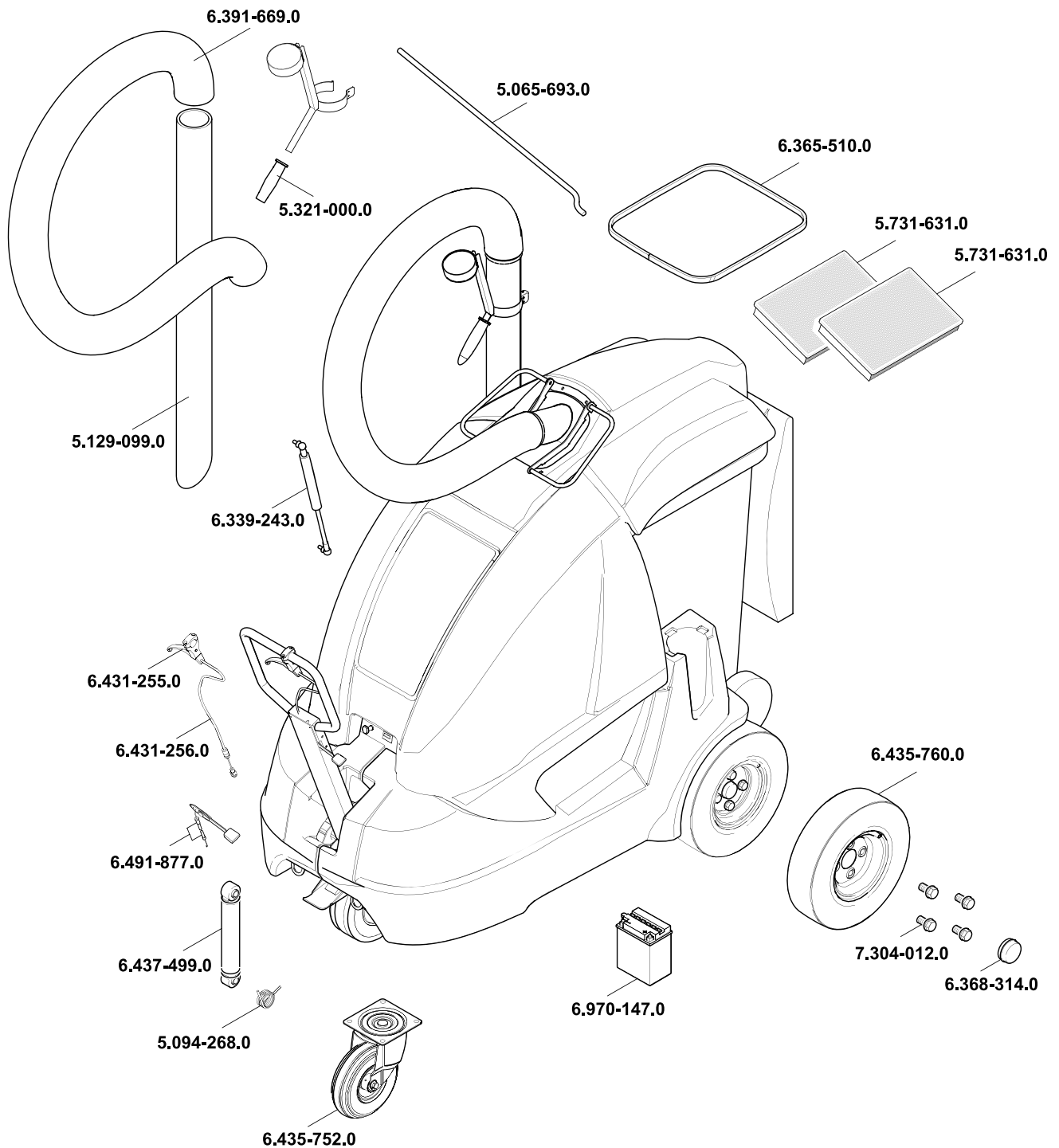
ご依頼	<input type="checkbox"/> 修理品を送付いたします。( 月 日発送予定) <input type="checkbox"/> 修理品を弊社拠点へ持ち込みます。( 月 日) <input type="checkbox"/> 出張修理を申し込みます。 <input type="checkbox"/> 出張見積もりを申し込みます。			
<p>● 持込みもしくはご送付頂く場合は本票を添付してください。 お見積り提示まで在庫後5稼働日ほどかかります。 お見積り提出後2週間以内にご連絡が頂けない場合は着払いでご返送させていただきます。</p> <p>● 出張修理もしくは出張見積もりの場合 出張基本料金3,500円・拠点からの移動費170円/Km(最大50Km:最大8,500円)・作業工賃・部品代が別途発生いたします。 出張見積もりの場合 見積もり作業費用が別途発生いたします。 (機械を分解し不良特定を行うためもとの状態に戻せません。)</p>				
お支払方法※	<input type="checkbox"/> 修理品返却の際の代引き <input type="checkbox"/> ケルヒャーからの請求書発行による振込み (請求書到着後、1か月以内にお支払いください。) <input type="checkbox"/> 代理店 (下記項目を必ずご記載ください)			
代理店さま経由で お支払の場合	代理店名		担当者名	
	住所			
	TEL			
	事前に代理店さまへご通知頂き、管理番号を頂いてください。			
	代理店さま管理番号			

ケルヒャー ジャパン株式会社 サービスフロント  
TEL:0570-78-3140

201708



# 補修部品



※仕様変更により、商品の形状と図が一致しない場合があります。

※商品番号は予告なく変更する場合があります。

---